

24-10-16

～中吊り広告に新しい価値を～
 “アイデアのある”中吊り広告で、車内と世の中を明るくする
 「うえむくとうわむくプロジェクト」を実施します

名古屋鉄道は、株式会社電通名鉄コミュニケーションズ(本社:名古屋市中村区名駅四丁目 8 番 18 号、代表取締役社長:新井 秀夫)と連携し、電車内の中吊り広告を活用して、今までになかったようなアイデアを加えた“アイデアのある”中吊り広告で電車をご利用の方や世の中が上向ききっかけになる「うえむくとうわむくプロジェクト」を 10 月 28 日からスタートします。

本プロジェクトの第 1 弾では、花卉出荷量全国 1 位の愛知県内でも課題となっている「フラワーロス」の問題に対して、廃棄予定の生花を活用した「MORE FLOWER(モアフラワー)」を実施します。車内で花を楽しんでもらうとともに、日常に花を取り入れるきっかけを作っていくことで SDGs17 の目標の一つである「つくる責任、つかう責任」へつなげていきます。

1.「うえむくとうわむくプロジェクト」について

(1)概要

中吊り広告枠を活用し、“アイデアのある”中吊り広告で「中吊りを見る(うえむく)と、気持ちや世の中が良くなる(うわむく)」きっかけになるようなメッセージを展開していきます。同時に中吊り広告の可能性を広げ、広告媒体としての価値向上も図っていきます。

(2)ロゴ&ステートメント

うえむくと
 うわむく
 プロジェクト

頭の上で揺れる中吊り。そこに、アイデアを加えてみる。そうすれば視線だけでなく、気持ちが、この街が、上向ききっかけになるかもしれない。第一弾はロスフラワーを活用した MORE FLOWER。名古屋鉄道と電通名鉄コミュニケーションズによるこの街を彩る実験的プロジェクトはじまります。

(3)ポスタービジュアル

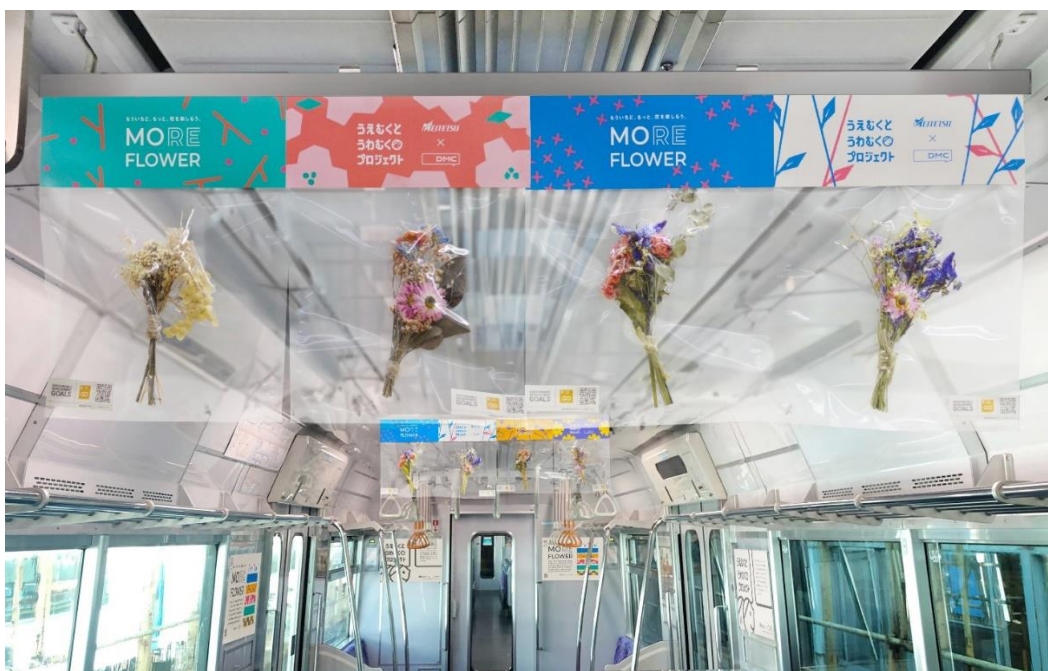


2.第1弾「MORE FLOWER(モアフラワー)」について

(1)概要

花卉生産農家から出荷された花がさまざまな理由で消費者の手に渡らずに廃棄されてしまうフラワーロス、経済的損失だけでなく環境問題の一つとなっています。「MORE FLOWER」では、ほんの少し茎が曲がっていたり、予定より早く咲いてしまったりしたために、捨てられるはずだった規格外の花を生まれ変わらせます。

規格外の花を農家から買い取り、ドライフラワーにアップサイクルすることで新たな価値を生み出しているドライフラワーフローリストの「merry_go_round(メリーゴーラウンド) 堀 祐次郎氏」と連携し、運行する1編成内で真空パックに入れたドライフラワーを使用した中吊り広告を掲出します。「MORE FLOWER」によって車内が彩られるだけでなく、車内掲出後に再度回収してご希望の方に持ち帰っていただくことで、ご家庭でも花を楽しめる機会を生み出していきます。



掲出イメージ

(2)MORE FLOWER 列車の運行

期 間:2024年10月28日(月)～2024年11月17日(日)

対象車両:2200系1編成

※装飾を行うのは一般車の4両のみ。

※運行上の都合で変更する可能性があります。

(3)配布用専用ラックの設置

掲出後のドライフラワーの中吊り広告は専用ラックに設置し、無料配布します。

期間:2024年11月20日(水)～2024年11月22日(金)

※なくなり次第終了します。

場所:名鉄名古屋駅 改札内(精算所前)



(4)ロゴ&ステートメント

もういちど、もっと、花を楽しもう。

MORE FLOWER

規格外というだけで、お店に並ぶ前に捨てられる花たち。
そんなロスフラワーを“もっと”楽しむために、“再び”命を
吹き込んだのが、このMORE FLOWER (モアフラワー)です。
日本一お花を生産する街を、日本一お花を愛する街に。
ただの通勤・通学がちょっと華やかになったみたいに、
あなたの生活もお花で彩りを加えてみませんか？

(5)ポスタービジュアル



(6)パートナー「merry_go_round 堀 祐次郎氏」紹介



岐阜県八百津町に拠点を構えながら、愛知県を中心とした全国の農家から規格外の花を買い付け、アップサイクルするドライフラワーフローリスト(ドライフラワー専門の花屋)。「花の生命を永く、そして美しく。」をコンセプトに、規格外となる花を利用して美しい色を創る。装花、アレンジメント、ワークショップ、卸売、オーグープランツの生産までを行い、花の文化を広げるために活動中。

<https://hurey.amebaownd.com/>

3.特設サイト&コンセプトムービー

10月28日(月)より下記URLで公開

URL:https://www.dm-c.co.jp/dmc_m/

4.今後の展開

第1弾の「MORE FLOWER」を皮切りに、従来の中吊り広告ではなかったアイデアある中吊り広告を制作していきます。中吊り広告の新しい価値を作っていくとともに、中吊り広告を見上げることで世の中がうらわむくようなメッセージを発信していきます。

以上